

江南市廃棄物減量等推進協議会 令和4年度第1回会議 会議録(概要)

●日時 令和4年5月31日(火) 午後2時00分～午後3時30分

●場所 江南市防災センター 防災セミナー室

●出席委員(18名)

会長	石井 進	委員	安田 幸子
委員	尾関 委代子	委員	古田 みちよ
委員	川合 龍司	委員	森田 英守
委員	安藤 晴通	委員	伊藤 克
委員	幸村 満	委員	森 ケイ子
委員	中西 健仁	委員	古田 一二三
委員	岩井 喜美子	委員	望月 晴夫
委員	小笠原 茂彦	委員	大岩 直文
委員	黒岩 弘子	委員	高木 則雄

●欠席委員(8名)

副会長	埴田 惣一	委員	西部 茂夫
委員	多湖 直希	委員	秦 公輝
委員	水谷 竜一	委員	八木 幸男
委員	阿部 枝美子	委員	松浦 大介

●事務局

環境課	課長	相京 政樹
環境課	主幹	前田 茂貴
環境課	主任	米嵩 浩之
環境課	主事	高田 奈美

●会議経過

開 会

●事務局

本日は、「令和4年度第1回江南市廃棄物減量等推進協議会」を開催しましたところ大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

皆様おそろいでございますので、只今から会議を始めさせていただきます。

それでは、今後の会議の進行を、会長にお願いしたいと存じます。よろしくお願いたします。

●会長

<会長あいさつ>

最初に経済環境部長からごあいさつをお願いしたいと思います。

●経済環境部長

<部長あいさつ>

●会長

部長は、他の公務がございますので、ここで退席させていただきます、よろしくお願ひいたします。

<部長退席>

この協議会の委員の任期につきましては、2年任期となっておりますが、役員等による任期満了などで異動のありました方におきましては、残任期間を委員として委嘱させていただきます。

新たに委嘱させていただきました皆様を事務局から紹介させていただきます。

<委員紹介>

次に、事務局も、4月1日に人事異動がありましたので、自己紹介をお願いします。

<事務局自己紹介>

●会長

それでは、議事に入りたいと思います。

議題①「令和4年度協議会事業計画（案）について」、事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

ただ今、令和4年度協議会事業計画（案）につきまして、事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

・質疑無し

続いて、議題②「報告事項について」、事務局より説明をお願いします。

(1) 令和3年度ごみ減量「57運動」実施事業報告について

(2) 令和3年度家庭系可燃ごみ1人1日当たり排出量及び令和3年度江南丹羽環境管理組合  
ごみ搬入量について

(3) 令和3年度レジ袋削減推進委員会の寄付金の収支報告について

(4) 令和4年度江南市一般廃棄物処理実施計画について

(5) ふれあい収集の開始について

<事務局説明>

ただ今、報告事項につきまして、事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

● 委員

報告事項の(5)で、説明いただきましたふれあい収集についてですが、現在どのくらいの収集希望があるでしょうか。

● 事務局

ふれあい収集は明日から始まりますが、本日現在で10世帯の申込みということに留まっております。

● 委員

私は民生委員をやっているんですけども、要介護3以上で独居はなかなか少ないと思いますが、該当者はどのくらいおられるんですか。

● 事務局

高齢者生きがい課で生き生きライフカードというものがあって、そちらに登録されている方の人数で把握しております。要介護3の方が31名、要介護4の方が20名、要介護5の方が5名ということで、3～5ですと、56名の方の独居としての登録があるということで把握しております。

● 委員

今聞かれたから分かったんで、意見なんですけど、とにかく要介護3以上ということになったら、実質、今56名みえるということなんですけど、おそらくすぐ近くには家族の方がいらっしゃるような方だと思うんですよ。要介護3以上で、1人であるっていうことは、ほとんど自分のことはできない方なんですよね。だからせっかく始めたこのふれあい収集が、こういう状況では利用したくてもできない方がたくさんいると思うんです。だからもっと条件を緩和して、1人暮らしで体の不自由な方ぐらいの条件にして、そういう方を支援するというかたちにぜひ改めてい

ただきたいと思います。よろしく申し上げます。

● 事務局

今、委員さんからご指摘いただいたとおり、実際この事業を始める目的というのが、困っている方の支援ということになっていると思います。そういう意味で戸別収集の体制を整えた中で、今回10世帯で始まるということですので、対象者の条件というのがどうだったかといった思いもあるんですけども、先ほど申し上げたように、要介護3～5の方が56名いらっしゃるんですけど、そちらの方に情報が行き届いているのか分からない部分があります。また、この方々には、おそらく補助される方が近くにいらっしゃるということも委員のおっしゃる通りかもしれませんが、まずはこれでスタートさせていただいて、状況に応じてどうしていくかということを検討していきたいと考えております。

● 委員

要介護1、2の状態にある方が何人いるか把握されていますか？

● 事務局

昨年度の途中の数字ですけども、独居で、生き生きライフカードに登録のある、要介護1の方が84名、要介護2の方が56名ということで把握しております。

● 委員

私も、主人が寝たきりになって介護をしてるので、要介護3の状態と要介護2の状態を知っているんですけども、要介護3というと、自分で歩けないです。要介護2でも車いす状態。そうではないと要介護3なんてなかなか認定されませんよ。だから要介護状態、1、2の方も入れていただけるようにしないと、せっかくふれあい収集を実施して希望者がいても対応できないという状態になると思うので、その辺りを実態をよく高齢者生きがい課と相談しながら、早めに検討していただかないと、私たちや区長さんたちも地元に行って、市がふれあい収集やってくれるよと言っても、対象者がそういう人に限られてしまうと制度を紹介できないと思います。要介護状態の方は支援しますという形に1日も早く変えていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

● 委員

ごみのボランティアでずっと収集時に立っているんですけど、あるところで、90歳過ぎのおじいさんが、バケツにひとつずつ分別したごみを入れて杖をついて持ってみえるんですね。遠くから見てると10分くらいかかるかなあと。区の方で私たちが助けてあげたいんだけど、実際にこちらも助けることができない状態ですから、区とか区長の申請でそういう独居の方を拾っていただけるようになるとありがたい。要介護1とか2とか3とかって言うんだけど、実際にはそこまではいかないけど、どうしようもなくって杖ついて行ってます、助ける人がいないから仕方なく運動の為に来てるという人は2、3人みえるんです。そういう人も区の申請、区長の申請で何とか幅広く救っていただけるとありがたいかなと思います。ゆくゆくの話ですけど、広く許容して行って、区からの申請も受付していただけると非常にありがたいなと思っております。

● 委員

これはどなたが収集するんですか。

● 事務局

収集については直営ということで、環境課に収集員が3名おまして、そのうちの1人と、会計年度任用職員といういわゆるパート職員が1人、2人体制で回るように準備を進めているところです。

● 委員

2名で、30世帯くらいの収集、1日や2日は無理じゃないですか。それだったら1日何世帯までと決めて、3人で1週間で交代するとか、そういう形で計画しないとなかなか収集できないのではないですか。

● 事務局

資源ごみの収集体制としては10コースに分かれていまして、その10コースでだいたい1コースにつき10世帯くらいであれば10×10の100世帯という、だいたいそういうところが妥当な件数ではという見込みで当初の設計をしたところです。

● 委員

これは独居で障害を抱えた人が、家の前にどこか場所を決めて、そこへ出すまでは障害を抱えた人がやって、そこから職員の人を持って行くということですが、実質は家から出すのは無理で

すよね。その手伝いを誰かがしないと、回っていかない気がします。そこはどう考えてみえるんですか。

● 事務局

実際に家に入ってごみを出すところまでは想定してないのですが、そうした方が、今現在どのようにごみを出しているのかということも含めて整理をする必要があるのかなと思っています。自分で出すこともできないのかどうかという状況についても。

● 委員

まず無理ですよ、要介護3の人は。だれかお手伝いする人がいないと出すことができませんよ。

● 事務局

ふれあい収集の担当をしております、申込みされた方のご自宅に伺って、ごみをどこに出されますか、とか普段どうされてますかとかお聞きしますと、親族の方やヘルパーさんが今は月に1回は無理なので、数カ月に何回かごみを取りに来てくれるとおっしゃられています。ご自身のご自宅であれば、前日であったり、数日前からごみが置いてあっても特に問題はないと思いますので、ヘルパーさんや親族にその場所に事前にごみを置いていただき、資源ごみ収集日当日に環境課職員が取りに伺うという形を取らせていただいております。

● 事務局

それから、申込みに関してなんですけども、先ほど区の方からとあったんですけども、その辺りは想定をしております、ヘルパーさんからでも、ケアマネージャーさんからでも区の方からでもご申請いただければ対応していくということで想定をしております。区長会や、民生委員の会議、ケアマネの会議などいろいろな所に出向いて説明をさせていただきますが、お話を聞いていると、条件が厳しいのではないかという意見があるというところは感じております。

● 委員

核家族、独居老人が増えてきて、独居老人の方っていうのはだんだん身体が弱ってくるんですね。自分で対応することはなかなか難しくなる。ごみ出しについても同じかもしれません。従いまして、将来的には、家の状況に応じて、どうやって市の方が応援するのか、介護業者の方と協力してどうやって応援するのかについて、ほんとに要件を緩和する方向で検討していただきたい

と、個人的には思います。

● 会長

続いて、議題③「資源ごみの収集体制について」、事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

ただ今、資源ごみの収集体制につきまして、事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

(質疑応答)

● 委員

袋収集とする場合の指定袋はいくらくらいですか。

● 事務局

基本的には可燃ごみの指定袋と同程度と考えております。

● 委員

プラスチック製容器包装類と、ペットボトルが袋回収になる場合、月1回の時の回収のカゴと  
いうのはなくなっちゃいますか。

● 事務局

そのような想定になります。

● 委員

魚など入れるちょっと大きめの発泡スチロールもこの袋収集に入るんですか。

● 事務局

発泡スチロールは全てその資源ごみの指定袋に入れて出していただくような案になります。

● 委員

そうすると1個で1つの袋使っちゃいますよね。

● 事務局

そういう場合もあるかもしれないです。

● 委員

リンゴなどを入れるものだと、大きいし割ってもかなりの量になりますが、やってみないと分

からないです。

疑問点だけ話しますが、雑紙なんか専用のカゴに入れるということなんですけど、雑がみ専用の赤い箱の数が足りないんです。対応としては紙袋とかで対応はしてるんですけども、月1回となってくると絶対的な数が足りないということですね。廃プラ、包装容器、立ち当番をやってると、うちの場合だと、農家さんが結構いらっしゃるのですが、畑で使ったマルチがプラスチック製容器包装類のカゴの中に全部入っちゃうんですね、よっぽど気を付けておかないと。汚れている使ったマヨネーズなんかだと、洗っていないものがどんどん容器包装に入れられていく。ごみだからいいんだろという感じで捨てられてしまいますが、そういうものは業者の方で分別していただいているのかと思っています。

最初のうちは月2回でやってた時よりもかなりいろいろなものが入ってくると思いますので、そこらへんのリスクも含めて考える必要があるということだと思います。それについては今後どうするかということ議題にはなってくるだろうと思います。疑問点だけということ。

#### ● 委員

私たちの生ごみを出すところへこの不燃ごみを出すのはどうでしょうか。道路際の車がよく通るところなんですけど、そこにそういう資源ごみを置けるのか、農家の人がトラクターでその道もよく通るため心配だし、生ごみと同じ場所に道にいっぱいになってしまうのに大丈夫かなあと思います。こういう道路沿いにカゴも置くんですか。

#### ● 事務局

カゴは置かないです。あくまで決められた袋で出していただく形の案としています。

#### ● 委員

袋にしても結構数は多いです。地域で可燃ごみ置き場は何カ所かありますが、みんな道沿いなんですよね。だからどうなるのかなと考えていました。

#### ● 事務局

そうですね、あくまで想定では、可燃ごみの場所に同じように袋に入れて資源ごみを出していただく品目を作るという形の案としています。

#### ● 委員



いつから実施されるんですか。

● 事務局

誤解のないようにしておきたいんですけど、収集方法を変えるにはものすごく時間と経費がかかりますので、そここのところの誤解がないように、十分取扱い注意ということでお願いします。

● 委員

しばらくは、今まで通りなんですね。

● 事務局

もちろんそうです、そこは誤解のないようにお願いします。

● 委員

この案は立ち当番の数を減らす目的で挙げていると思うんですが、立ち当番は、実際には多いんですか。我々の所は宮田地区ですけど、班長が年に4回、我々は年に24回、一般の方は当番は年に1回です。それが多いのかどうか疑問に思いました。また、ペットボトルとプラスチック容器は、袋収集にすると今のカゴ回収より容積が大きくなります。新たな置き場の管理に負担がかかるだけじゃなくて、我々にも負担がかかりますし、場所を相当苦勞して確保してます、みんなほとんど自分の土地じゃないわけですからね。立ち当番の問題から資源ごみ収集体制の見直しの話になるのは飛躍していて、私は納得がいかないです。

● 会長

説明しますと、去年の協議会でも地区によって意見が違うんです。立ち当番の負担軽減は必要だということもあるし、負担が多くてもある程度地域のコミュニティの為にやらなければいけないということもある。だけど、新しい世帯が増えてきてそうした世帯の方で困っている方が多い、という方もいらっしゃるということです。全てがそうじゃないです。そういう声を拾い上げて案として事務局が作ったということでご理解ください。

● 委員

私は今回の案に賛成なんですけども、サラリーマンの方は仕事に行かなきゃいけないので、立ち当番はしんどいというのがあります。そういう人たちは極力回数を少なくしているという話ならば、それはいいと思うんです。一律にこの案でやるといろいろ問題がたぶん出てくる。布袋地

区だと、可燃ごみはだいたい道路に面した所なので、家の前に頼んで置き場を作ってもらっています。そうすると、プラスチック製容器包装類とか発泡スチロールなんて量が多いのでたぶんかなり道路にはみ出してしまいます。ちょっとクレームが出ますよ。だからしんどいかなあというのがひとつあります。それから月に1回に変えるというのがありますけど、私が出しに行ってしまうのは、剪定ごみが結構出るんです。大抵いっぱいになっている。そうすると月に1回ということは、倍になるわけですから、これを処理するのはちょっとしんどいかなと思います。

#### ● 会長

剪定ごみはすごく多いですよ。今、月2回でいっぱいの状況です。1回だとどのようになるかと……。可燃ごみにはネットを被せるんですけど、最近カラスが賢いもんですから、それでも生ごみを取っていくんですよ。それで散乱する。プラスチック製容器包装類を袋で可燃ごみ置き場に出した場合、そういうものについてカラスが散乱させる機会が多いのかどうかもよくわからないですけど、ただ基本的に道路に置きますから、道路障害になる場所は多くなるという意見も出るでしょうね。

#### ● 委員

新しく入ってきた人だと、家の前にそういうごみを置いてほしくない人がほとんどなんですけど、そこを説得して置いてもらっているんで、なおかつ量や回数が増えてくると、また説得が大変だなあと感じます。

#### ● 会長

今回のたたき台については、昨年度の協議会においても複数の方から要望が出された、そういうものを事務局がある程度くみ取って見直し案という形でたたき台をつくったものです。将来的にいつになるか分かりませんが、この通りになるのか分かりませんが、そういうことを踏まえて皆さんに意見を出していただいて、より良い方に見直していくということをご理解いただきたいと思っています。

#### ● 委員

一律ではない方法では無理なんですかね、現役世代の多い地域、そうでない地域、高齢者が多い地域、一律にしてしまうと難しいんじゃないかという気がします。

● 委員

江南市は市街化区域が増えてきて、新しいアパートなども増えてきまして、要するに新しい人が増えてきているのは事実なんです。そういう方はそういう方でご意見があるんです。

● 委員

こういうことをご検討いただく機会を昨年度からもっておられることに対してほんとに敬意を表したいと思います。私は古知野地区の町内にいますけど、世帯数が300世帯くらいの地区で、当番制は1年間で2回くらいのため、大したことはないんですけども、現役世代から色々と意見が出るのは事実でありました。町内の世帯主の平均年齢を見てみましたが、65歳くらいで、組によっては平均年齢が70歳くらいになる、これが5年先、10年先になりますとほんとに高齢化世帯で、独居老人ばかりとなると、やはりごみの集積場所が300世帯で、1箇所しかないため、60坪くらいの土地を借りてそこへみんな出していただくようになっていても、車に乗れなくなるとか、シニアカーも無理だとなると考えると、案についてはやむを得ないかなという感じです。冒頭に事務局から説明をいただいた内容を我々は地元に戻りまして、こういう状況だからということのを大いに発信すべきだと思うんです。この話は誰にも影響する問題ですので、大いに発信することが大事だと思うんですけども、そこでひとつお伺いしたいことが、いつまで検討期間としておくのか、変更するならいつからやるのか。それをある程度決めないと、聞きすぎるのも大変でしょうし、という感じを受けます。変更案で1つ提案なんですけど、週1回と月1回と分けてある変更案ですけども、プラスチック製容器包装類とペットボトルは週1回なんですけども、月1回の方にも入れていただけるとなおいしいのかなと思います。それから、名古屋市などの大都市と比べますと、昔から分別区分が非常に江南市はしっかりしていると思うんですね、素晴らしいことなんですけど、それによってなかなか大変だということもあるわけです。江南市の分別のレベルは、どれくらいですか。

● 事務局

愛知県内で比較しても、トップレベルの分別区分となっています。

● 委員

予算的なことは置いといてという話だったんですけど、実際にはやっぱり増えるところと、減

るところとあるわけですので、どのくらいを考えてみえるのかなというのを聞きたいです。それと、当番が年1回だからっていう話もあったんですけど、その年に1回の当番に出られないという方が、私の区では、かなり多くなっています。高齢で一人暮らしの方が多いいもんですから、なかなか出られないという方、それと仕事をしていて出られない、休暇とって来たよという方が結構みえるんですけど、出勤までの時間だけ出る、朝、回収容器を並べるために6時10分までに出てきてくださいと当番の方に言っていますが、その後7時には帰る方とか、中には容器を並べただけで失礼しますと帰られる方がいます。それでも出てきていただくとありがたいんですけども、やっぱり引っ越しして他から来られる方も多いので、よそではこんなことやってなかったのに、ここへ来たら大変という意見も結構ありますので、これですぐスタートというよりはこれをたたき台にして、いい江南方式を作り上げていければいいんじゃないかなと思います。ずっとなんとかしてほしいと言ってきたのが一歩進んだと私は思っていますので、みんなで考えていければいいなと思います。

#### ● 会長

これはあくまでも素案なんですけど、皆様のご意見をお聞きして、市の方でより良い形にするということです。皆様のご意見をお聞きするという趣旨ですので、皆さんに発言をお願いしたいと思います。

#### ● 委員

いい案だと私個人は思いますけど、やはり先ほど費用のことを置いといてということですけど、やはり費用が増加すると、どこかを見直さなければいけなくなるので、費用は出しながら検討していった方がいいと思います。

#### ● 委員

私は江南市の人間じゃないから困るんですけど、リサイクルステーションへもっと持って行ったりすることの方が皆さん方の負担が減るんじゃないかと思ったんです。もしくは大きな店舗の回収を活用するように、市の方でPRするようにする。また、草と剪定枝は燃えるゴミでいいんじゃないのというのが本音です。犬山市だと燃えるゴミなんです。

#### ● 委員

コンポストにするのが一番いいんです。燃やすと CO2 が出ます。

● 委員

犬山市だと、そのようになっているので、もっとリサイクルステーションとか、大規模店舗にも設置してもらっての方がいいんじゃないのかと個人的には思うことです。回数は何回にしても出せない方は絶対にみえるじゃないですか。リサイクルステーションを増やせば、一般の方なら月 1 回とか、週 1 回とかで全然問題ないと思います。

● 委員

収集体制の見直しによって、10 万人都市の中でも、1 人あたり出すごみの量が少ない江南市の人たちみんなの気持ちが、どうしたらもっとごみを減らせるか、と考えられるそんな江南市の収集体制にしたいなと思ってます。

● 委員

会長さんも区長さんもおっしゃるように、見直し案に対して一度に色々な意見は出ないでしょうけれども、当番ほんとうに大変なんですよ。ただ、このように大勢の人数による協議じゃなくて、例えば半分くらいに減らして、特別委員会を開催しないとなかなか会長さんも話が拾えないかなと思います。

● 委員

枝や葉は、燃えてしまえば何にもならないし、燃やすのにお金がかかることに問題がある。分別して資源にするという考えは良いと思います。プラスチック製容器包装類を袋で収集すると書いてありましたが、これは、今自分の地域の資源ごみ集積場所で一番困っていることで、袋から全部出してバラバラで出すことにしないと分別が乱れてしまうんです。袋に入っているとわからない。可燃ごみとプラスチック製容器包装類を 1 日ずつ出すということですけど、この方法だと、間違いなく混ざってしまいますから、ちょっと問題だと思うので、事務局の方で考えてください。

● 委員

事務局にお願いですけども、一宮市と小牧市と岩倉市がこのような方法で袋収集をやっていますので、その資料を次の機会までにみなさんにお見せできるようにしていただけるとわかりやす

と思います。次回の資料としてお願いします。

● 委員

要望ですが、木の剪定の時期にちょっと遅く資源ごみ集積場所へ持って行くともう袋がなくなって今度の時にしてください、と言われて持ち帰る人がいるんですけど、袋の数は決まっているのでしょうか。

● 事務局

袋の数については、季節によって変わるんですけど、事前に言っていただければ、袋の数の増減はいつでもできます。区長さんや区の役員さんを通じて、その場所は前もっていつもより増やして欲しいと仰っていただければ対応をさせていただきます。

● 委員

自分の住んでいる一宮市では、今回変更になる方向のような形でのものですので、利便性での面では確かに便利ということだけは事実です。ただ、江南市には江南市の今まで培った分別の歴史があると思いますので、そういったところの利便性等の部分と、今までの歴史の中で無理のない形を模索していただくのが一番いいのかなあと改めて思います。

● 事務局

まず、検討の期間ということですが、一応昨年度と今年度でということ、方向性を出していきたいということなので、できればですけども、今年度中に一定の方向性を出していきたいと考えております。そのうえで、変更した内容の実施については、早くても令和6年度の途中からということになると今は考えております。実は収集体制の見直しにあたっては収集運搬業者や、処理業者も大きくかかわってきますので、並行して話を聞いております。これからの方向性も含めて簡単な話をさせていただいております。そのうえで、なんとか市の方向に沿うように対応したいという返事もいただいております。経費については1億円は超えないと思いますが、当然何千万というレベルでは増えるんじゃないかと考えております。それから、袋で出せないものについてはリサイクルステーションを増設することによってそちらを活用していただくことは念頭に置いておりますので、現在、リサイクルステーションの候補地となり得る、現場を何度も確認して検討を進めているところです。そちらについては、次の協議会でお示しをできればいい

かなと考えております。それから、協議の進め方ですけども、先ほど特別委員会を開催してはどうか、という話もありました。年間スケジュールでは、協議会は3回ということですけど、7月くらいに特別委員会を開催して、人数を絞って協議ができるといいのかなと考えております。

#### ● 委員

リサイクルステーションの増設という話をさせていただいて、大変ありがたいんですけども、立ち当番をやっていると、リサイクルステーションとなっている環境事業センターも利用してくださいね、と言うと、そこへ行ったら厳しいことを言われたということをよく聞きます。職員さんには耳の痛い話だと思うんですけど、少し当たりを柔らかくしていただけると、利便性が上がるんじゃないでしょうか。しっかり指導しなくてはというのものもあるんですけども、なんとか利便性を保てるよう、対応を少し勉強してほしいと思います。

#### ● 事務局

リサイクルステーションにつきましては、出しやすい環境が保てるように努めてまいります。それから、増設に関しては今と同規模のものができるとことはなかなか難しいのかなと思っております。分散型にすることも検討中でございますけども、少なくとも先ほど出た、枝、草、については、別途出せる場所が設けられるといいのかなと考えております。

#### ● 会長

ご意見はございませんか、無いようですので、次にまいります。

議題「3. その他」について事務局から何かあれば説明をお願いします。

<事務局説明>

- ・特になし

これもちまして、第1回江南市廃棄物減量等推進協議会を終了させていただきます。

本日は、長時間にわたりご審議を賜り、ありがとうございました。